

全国豊かな海づくり大会の概要について

1 開催趣旨

魚食国である日本人の食卓に、安全で美味しい水産食料を届けるために、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、明日のわが国漁業の振興と発展を図る。

2 大会概要

昭和 5 6 年に第 1 回大会が大分県で開催されて以来、毎年各地で開催されている。

- (1) 主 催 豊かな海づくり大会推進委員会※1、開催県の大会実行委員会
- (2) 後 援 農林水産省、環境省（予定）
- (3) 大会会長 衆議院議長
- (4) 主な行事（先催県の例）
 - ① 式典行事
功績団体等表彰（栽培漁業、資源管理、漁場環境保全）、最優秀作文発表、
漁業後継者のメッセージ発表、稚魚お手渡し、大会決議、
次期開催県への大会旗引継ぎ 等
 - ② 海上歓迎・放流行事
稚魚放流、地元漁船による歓迎パレード 等
 - ③ 関連行事
歓迎レセプション、地元農林水産物・加工品の紹介や販売、
絵画・習字コンクール入賞作品展示、漁業・文化・環境をテーマとした企画展示、
吹奏楽演奏などのステージイベント、お魚タッチングプールなどの体験イベント 等
- (5) 開催時期 秋頃
- (6) 参加人員 式典行事：1,000 人程度
海上歓迎・放流行事：500 人程度
関連行事：20,000 人～60,000 人程度

※1 大会運営のため中央に設置される委員会（最高顧問：衆議院議長 大島 理森、会長：全国漁業協同組合連合会会長）で、大会は同委員会と開催県の大会実行委員会の共催で実施

3 開催状況等

現在までに 3 5 道府県が開催し、平成 2 9 年度の福岡大会、3 0 年度の高知大会、3 1 年度秋田県までの開催が決定している。